

現代国語専門指導教室 ニュートラル

# 富田博隆さん

近年、学習塾といえば主要5教科に対応するところが多いなか、現代国語を専門に指導する教室が平成30年7月に江南駅前が開校した。国語専門指導「ニュートラル」だ。なぜ、勉強しているのになかなか成績が上がらない、といわれる国語に着目し、どんな指導を繰り返しているのか？ ニュートラル代表の富田博隆先生に話を伺った。

## 国語は勉強しても結果が出にくい？

—なぜ、国語専門の塾を開いたのでしょうか？

開校前、私はある学習塾に勤務していました。実はそこでは理数系科目をメインに担当していたんです。私自身、大学では国語を専攻していましたが、多くの塾では現代国語を専門とする講師は少なく、他の科目を専門とする講師が国語を担当する場合もあるんです。そのとき、ふと思ったのが、国語は勉強してもなかなか点数アップにつながらないお子さんが多い、ということ。普段テストが70点くらいのお子さんは、頑張って勉強するんだけど、いつまでたっても70点前後しかとれない。それはなぜなのか？ どんな指導をすれば成績を上げることができるのかを独自に研究していくうちに、国語は論理的な教科であることに気付いたんです。そんな折、空き物件だったこの教室に巡り合い、国語を専門に指導する塾の開校を決心しました。

## 国語の成績が上がらないのはなぜだと考えていますか？

一般的な国語の指導は学校の教科書に準拠した教材の通り、その問題を解いていくものです。問題を解くことが目的となっていて、問題を解くために必要な国語力を身につけることに意識した学習があまりできていないように感じます。

## 国語に必要な力

—富田先生の考える「国語力」とは？  
論理的思考力を中心として、読解力、記述力、語彙力の4つの力が必

要です。そして国語力をアップするには問題を読み情報をつかむ「インプット」、設問に対する解答を導くために考える力「シンク」、正しい答えを表現する「アウトプット」がきちんとできなければいけません。例えば、問題を正しく読んでいなければ、当然ですが正しく答えることはできません。問題を正しく読むことができたとしても、考え方が間違っていればやはり正しく答えることはできないです。選択式の問題の場合、誤った誘導をしたものを選んでしまったり、記述式であれば書き方がわからなけ



月極レンタル自習室  
小学生～大学生・社会人まで学習意欲のある人なら誰でも利用可能

### 富田博隆

岐阜県出身。小学校教諭一種免許状、中学及び高等学校教諭一種免許状(国語)所持。学習塾勤務時代、独自に国語力アップについて研究を重ね、平成30年7月に江南駅前国語専門指導「ニュートラル」開校。現在、小学生から高校生まで指導。

れば、うまく文章をまとめることができず、すべての力をきちんと発揮できなければ正解にたどり着けないのが国語という教科なんです。  
—国語力を身につけるために、どんな指導をされているのですか？  
よく驚かれるのですが、中学生と高校生では指導内容に違いは特にありません。学年別に教材を用意しておらず、中学生も高校生も共通の国語力を身につけるための教材を使います。1つのテキストを終了したら、レベルクリア問題で習熟度を確認し、到達していれば次の教材へステップアップしていきます。すべての教材をクリアすれば大学入試共通テストに対応できる力がつき、中学生で取り組んでいるお子さんもいらっしゃいます。

を身につけることを意識しています。  
—テスト対策はどのようにしているのですか？  
中学生は内申点の関係で希望者は教科書準拠のテキストで定期テスト対策をしつかり行います。大学入試の小論文対策に通う高校生もいます。私はありきたりの「落ちない小論文」ではなく、他と差がつく、個性的な小論文を書くように指導しています。小論文で必要なのは国語力のなかの「抽象化力」を使って書くこと。その人の観点により抽象化の仕方は変わるので、ここではその観点について指導しています。

## ひとりひとりにきちんと向き合うため、少数個別指導

—国語の成績が上がるまで、どのくらいの時間が必要ですか？  
どのように取り組んだか！で個人差がありますが、私にはとても印象深い生徒がおります。その子は高校2年の2月に入塾し、9カ月間受講していました。他の生徒は評論文の教材について、一回りで済むなか、その子だけは習熟度が不足していたので、「一回りやってもらったんです。翌年のセンター試験の現代国語(小説50点・評論50点)100点満点のうち、その子の最高得点は98点でした。それが彼だったんです。ここでの指導に真面目に取り組んでくれた結果であり、私の指導は間違っていない」と確信しました。

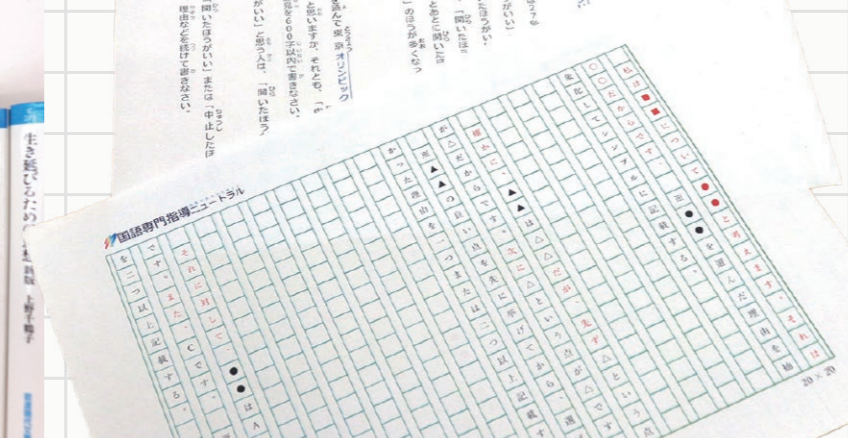
information | 国語専門指導 ニュートラル  
江南市古知野町瑞穂82 江南モロサダビル2F ☎0587-81-7078



単元別に取り組む習熟度確認テスト

論理的思考を身につけることとは、生きる力を持つこと

—では最後に、今後の展望を教えてください。  
さあ、聞いたことがないのでわかりませんが、「厳しい先生」と思われているかもしれないね(笑) 特に甘えている子には厳しく接します。宿題をやっていないかったら、帰しません。やるべきことはきちんとやるように指導することが子どものためだと思っています。それは保護者様にもご理解いただいています。



「待つ」ということ 富田博隆



小学生は基礎を身につける期間なので、主語・述語・名詞・修飾語・指示語などをじっくり学んでもらいます。たかさんの言葉に出会い、語彙力

—富田先生を信頼していたからこそ頑張れたんでしょうね。先生は生徒からどんな印象をもたれていたのでしょうか？  
ざっくり、世界のリーダーになれる人材を育てたいですね。そのために、子どもたちにきちんとした国語力つまり論理的思考力を身に付けてもらいたいんです。真の国際人に必要なのは英語力ではなく普遍的な論理的思考なのです。そして、それが生きる力にもなります。

また、私の思想に共感し、教育に興味のある方を講師として育て、みんなで日本を変える教育を目指していきたいです。



「待つ」ということ 富田博隆